

令和5年10月13日（金）

令和5年度地域・職域連携推進関係者会議

資料7

宮崎県日向入郷地域・職域連携推進協議会 の取組について

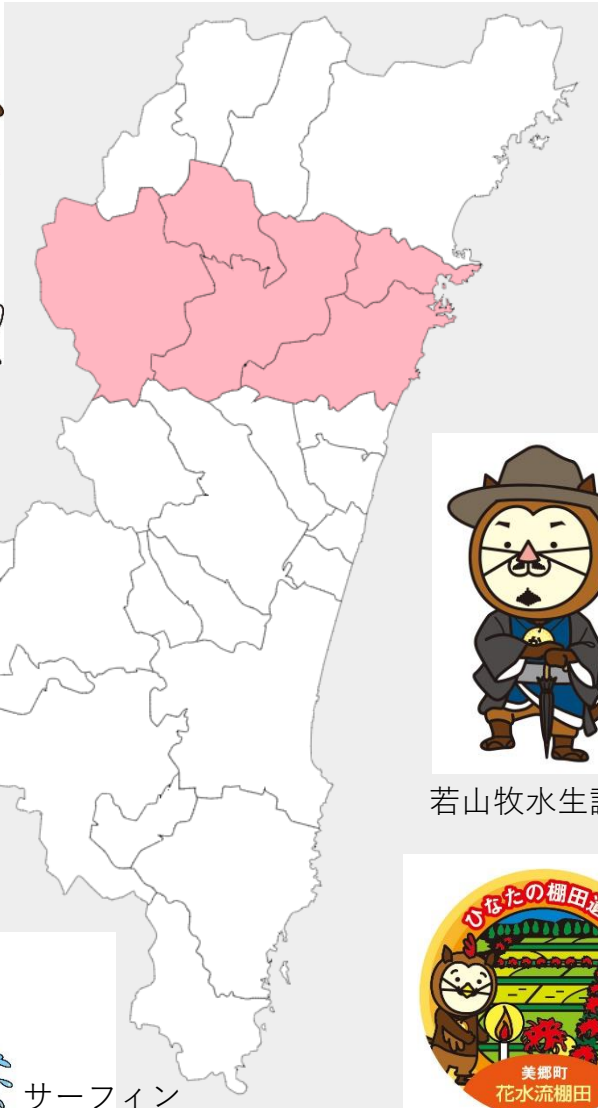


令和5年10月13日（金）
宮崎県日向保健所健康づくり課

宮崎県日向入郷地域の概況



ひよっこ



若山牧水生誕地



棚田



サーフィン

総面積	1,631km ²
市町村数	1市2町2村
世帯数	35,735戸
人口	83,586人
高齢化率	35.8% 高齢化率が県内1位、2位、4位の町村がある

(R4年10月1日現在)

特産品

- ・平兵衛酢 (へべす)
- ・門川金鱧
- ・しいたけ
- ・菜豆腐
- ・美郷町備長炭



健康みやざき行動計画21(第2次)概要

- 平成25(2013)年度から令和5(2023)年度までの11年計画
- 健康で自立して生活できる期間である健康寿命を伸ばし、健康長寿社会の実現に向け、小児期から成人の10分野で目標を設定した県民の健康づくりの基本指針
- 生活習慣病の一次予防と重症化予防をすすめる

健康寿命の延伸・健康格差の縮小

主な生活習慣病の 発症・重症化予防

- 糖尿病の予防
- 循環器疾患の予防
- がんの予防

社会生活を営むために 必要な機能の維持・向上

- こころの健康
- 次世代の健康
- 高齢者の健康



生活習慣及び社会環境の改善

1. 栄養・食生活	2. 身体活動・運動	3. 休養・こころの健康	4. たばこ	5. アルコール
6. 歯の健康	7. 糖尿病	8. 循環器疾患	9. がん	10. 栄養・食生活(小児期)



健康みやざき行動計画21(第2次)による具体的な取組

宮崎県が掲げる4つの目標

ベジ活！



めざせ適正体重
(肥満予防・改善)



野菜をプラス100g
(野菜摂取量の増加)



プラス1日1,000歩
(歩行数の増加)

へらしお！



食塩を1日マイナス2g
(食塩摂取量の減少)

第3章 計画の推進体制

二次医療圏ごとに地域・職域連携推進協議会を設置し、地域における保健課題の総合調整を行い、地域保健と職域保健の連携及び推進を図る

日向入郷地域・職域連携推進協議会の概要

事業開始	平成19年度から(平成20年度から作業部会を設置)	
目的	地域・職域で蓄積した保健事業の方策を互いに提供し合い、連携した対策を講じ、県民の生涯を通じた継続的な保健サービスが提供できる体制の構築を図る。	
構成団体 (20)	<ul style="list-style-type: none">・日向市東臼杵郡医師会・日向市・東臼杵郡歯科医師会・宮崎県栄養士会日向事業部・日向市・東臼杵郡薬剤師会・旭化成(株)健康経営推進室 延岡健康経営支援センター・全国健康保険協会宮崎支部・公益財団法人宮崎県健康づくり協会 延岡事業所・宮崎産業保健総合支援センター・日向商工会議所	<ul style="list-style-type: none">・日向農業協同組合・門川漁業協同組合・東臼杵郡地域婦人連絡協議会・日向市食生活改善推進協議会・延岡労働基準監督署・日向市健康増進課・門川町健康長寿課・諸塚村住民福祉課・椎葉村福祉保健課・美郷町健康福祉課・日向保健所

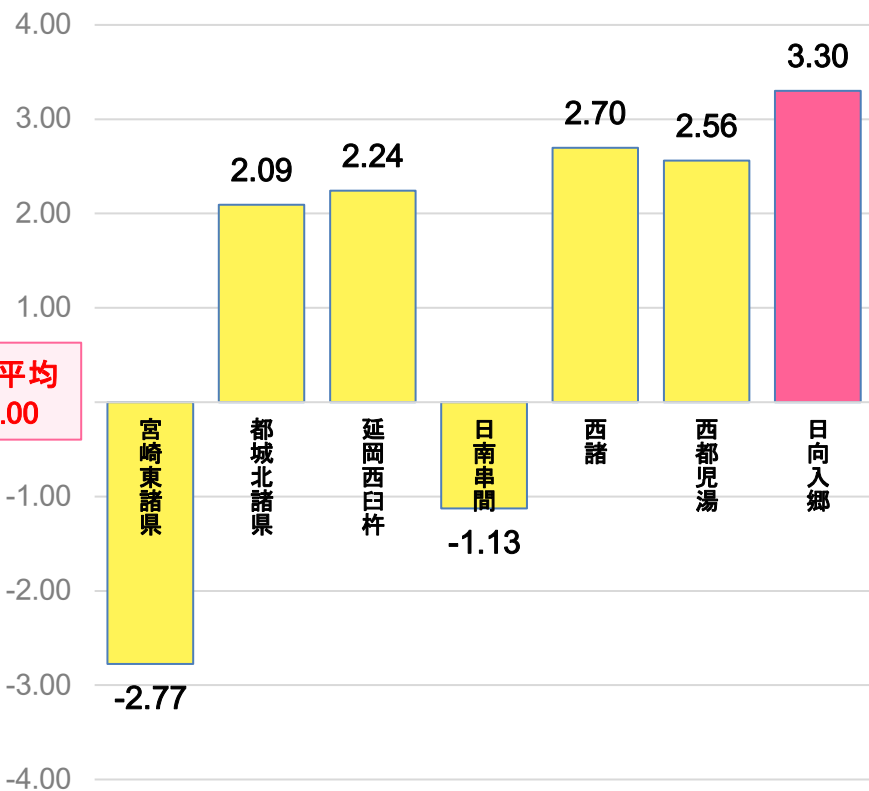
当協議会のこれまでの取組：平成23～30年度

	課題	テーマ	取組内容
平成23～25年度		歯の健康	
平成26年度	全国と比較して 県内の肥満が多い	肥満対策 (健康みやざき21の 「めざせ適正体重」に つなげる)	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満対策リーフレット作成 ・運動に関する講演会の開催
平成27年度			<ul style="list-style-type: none"> ・肥満対策のリーフレット配布
平成28年度			<ul style="list-style-type: none"> ・肥満対策の評価 ・各団体等における運動の取組状況の整理
平成29年度	成人・小児の 肥満出現率が高い	地域の食事からの 健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・職域を対象としたアンケート調査票の作成
平成30年度	高血圧の有病率が高い	↓ 高血圧の人を減らす	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の開催 ・アンケート調査の実施

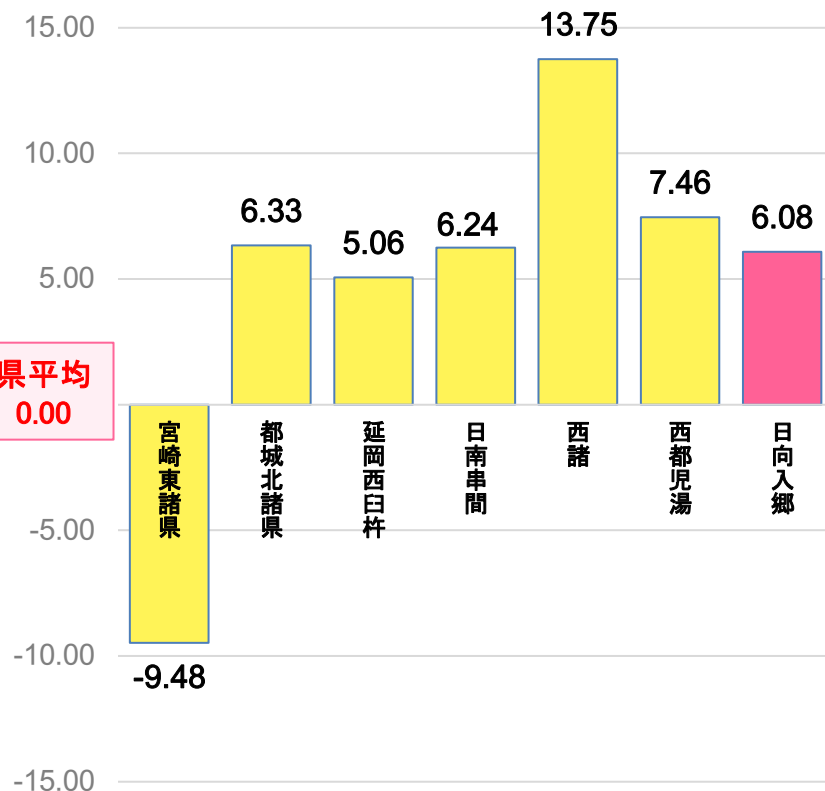
二次医療圏別比較: BMI \geq 25

※グラフは標準化該当比-100を示したもの。宮崎県の有所見率を100としたとき、各二次医療圏での有所見率を相対値で表している。グラフが上に伸びるほど、県の有所見率に比べて有所見率が高い。

男性(40-64歳)



女性(40-64歳)

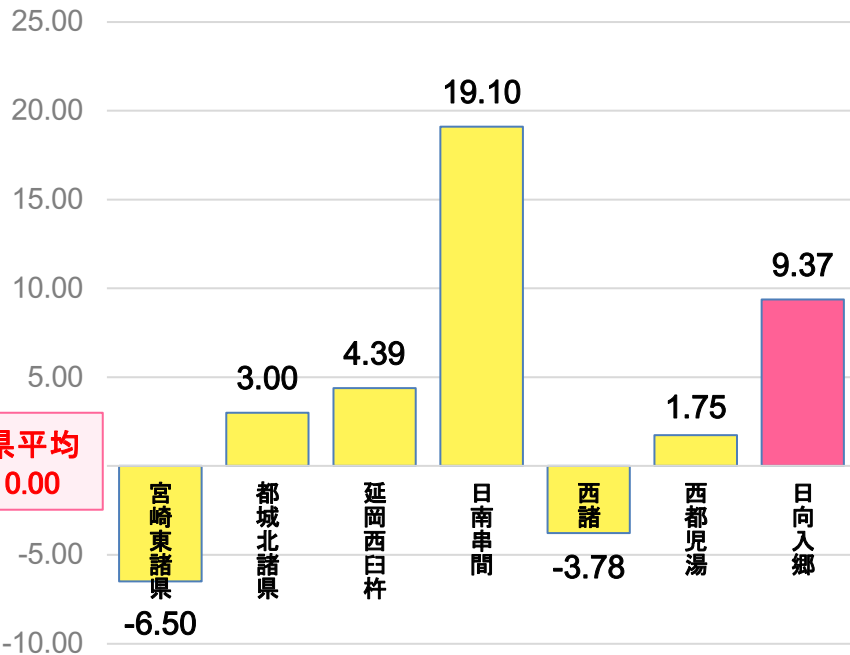


県平均に比べて、日向入郷地域では男女とも肥満者(BMI \geq 25)が多い。

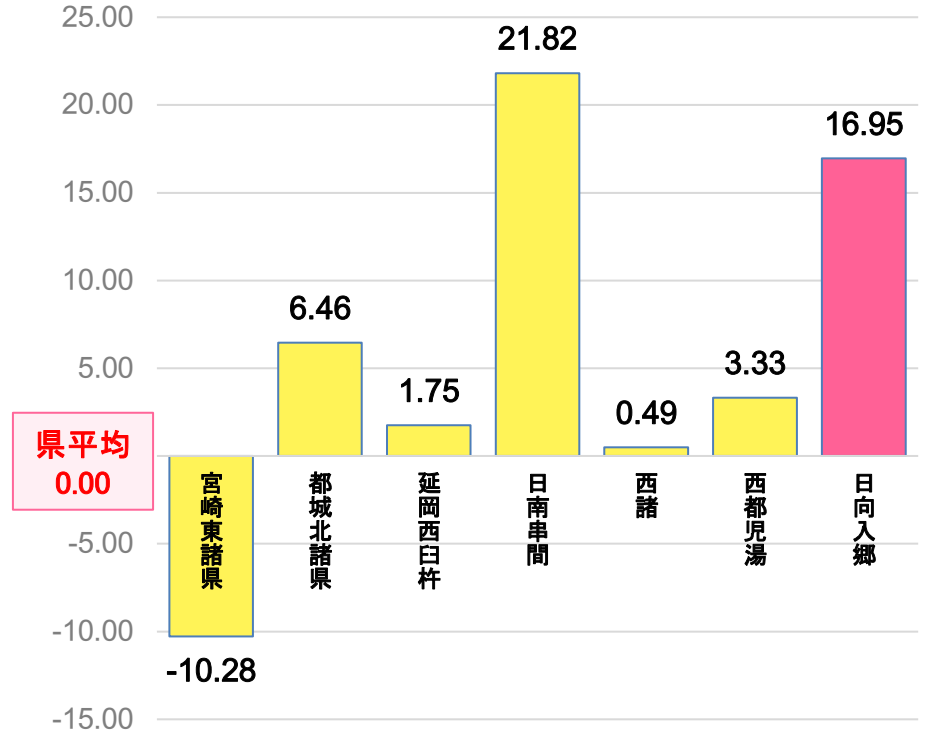
二次医療圏別比較：収縮期血圧 ≥ 130

※グラフは標準化該当比-100を示したもの。宮崎県の有所見率を100としたとき、各二次医療圏での有所見率を相対値で表している。グラフが上に伸びるほど、県の有所見率に比べて有所見率が高い。

男性(40-64歳)



女性(40-64歳)

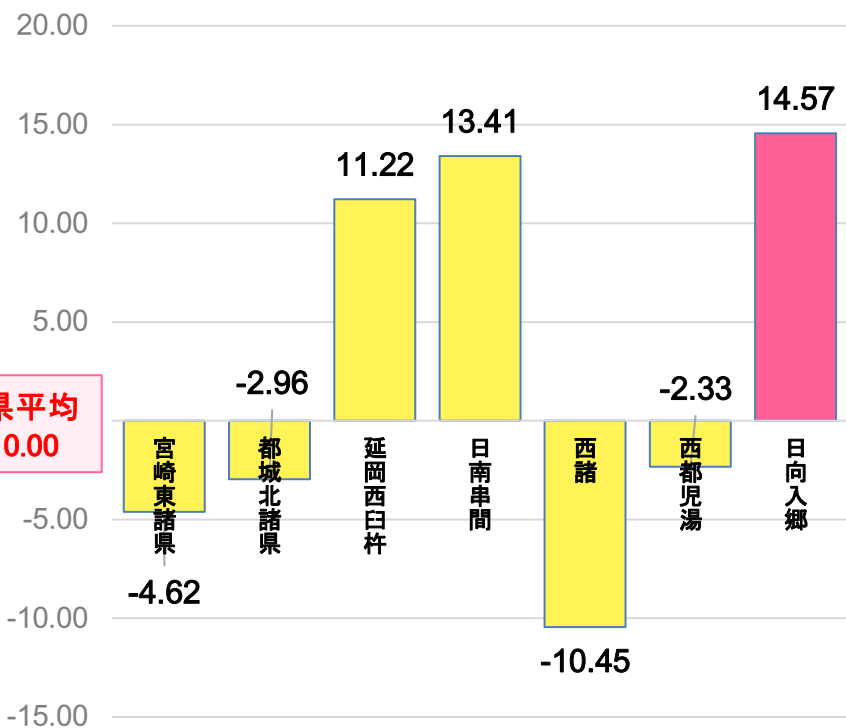


県平均に比べて、日向入郷地域では男女とも収縮期血圧の高い者が多い。

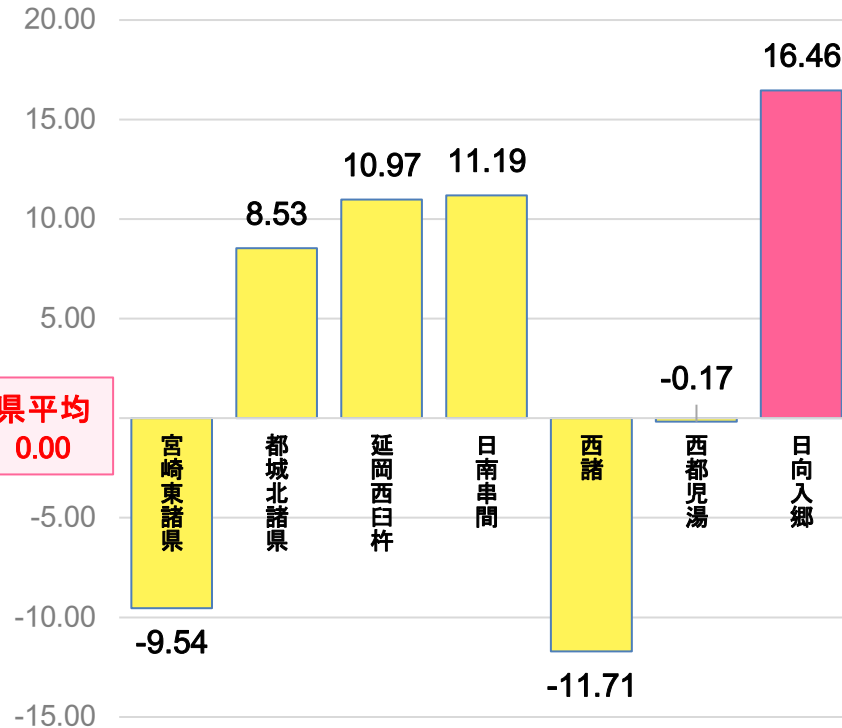
二次医療圏別比較：拡張期血圧 ≥ 85

※グラフは標準化該当比-100を示したもの。宮崎県の有所見率を100としたとき、各二次医療圏での有所見率を相対値で表している。グラフが上に伸びるほど、県の有所見率に比べて有所見率が高い。

男性(40-64歳)








女性(40-64歳)



県平均に比べて、日向入郷地域では男女とも拡張期血圧の高い者が多い。

市町村別高血圧性疾患 有病率 (R2.4～R3.3)



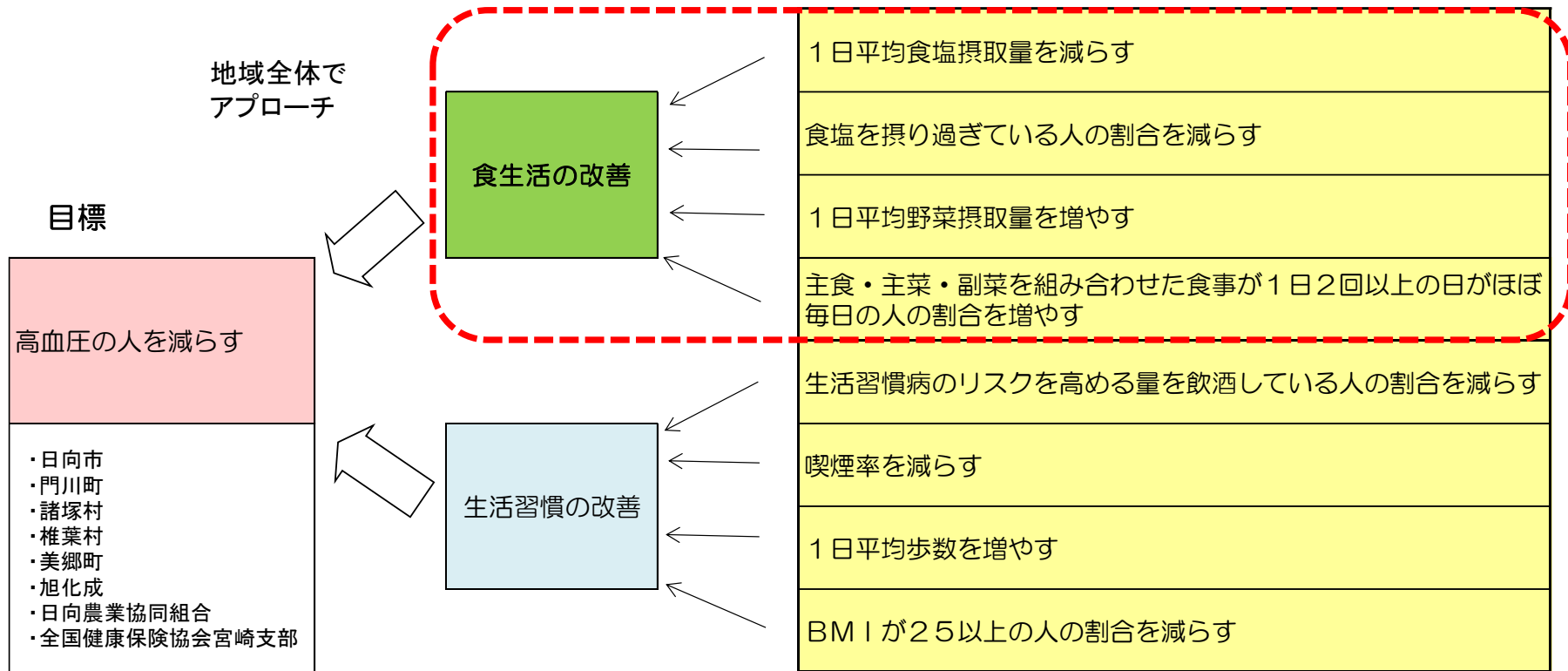
高血圧性疾患の有病率(%)	
	40% 以上
	35% 以上 40%未満
	30% 以上 35%未満
	0% 以上 30%未満
	県平均 31.10%

県平均に比べて、諸塚村、椎葉村、美郷町で多い傾向にある。

令和元年度から現在までの取組

テーマ	食事からの健康づくり <目指す姿:高血圧の人を減らす>					
目的	ベジ活・へらしおの普及啓発及び食環境整備のための取組について、協議会及び部会構成団体と連携して実施するとともに、管内事業所における健康経営の周知、特定健診受診率の向上に向けた取組を実施することにより、肥満出現率や塩分の過剰摂取者の割合を減らし、健康増進を図る。					
年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●へらしおの周知 ○健康経営の周知(各構成団体で実施) ○特定健診受診率向上に向けた取組(各構成団体で実施) 					
	<ul style="list-style-type: none"> ●へらしお協力店の登録 ●メーリングリストによる協議会・部会委員への情報共有 					
	<ul style="list-style-type: none"> ●へらしおリーフレットの積極的な活用(各構成団体で実施) 					
						○評価

目標／評価指標

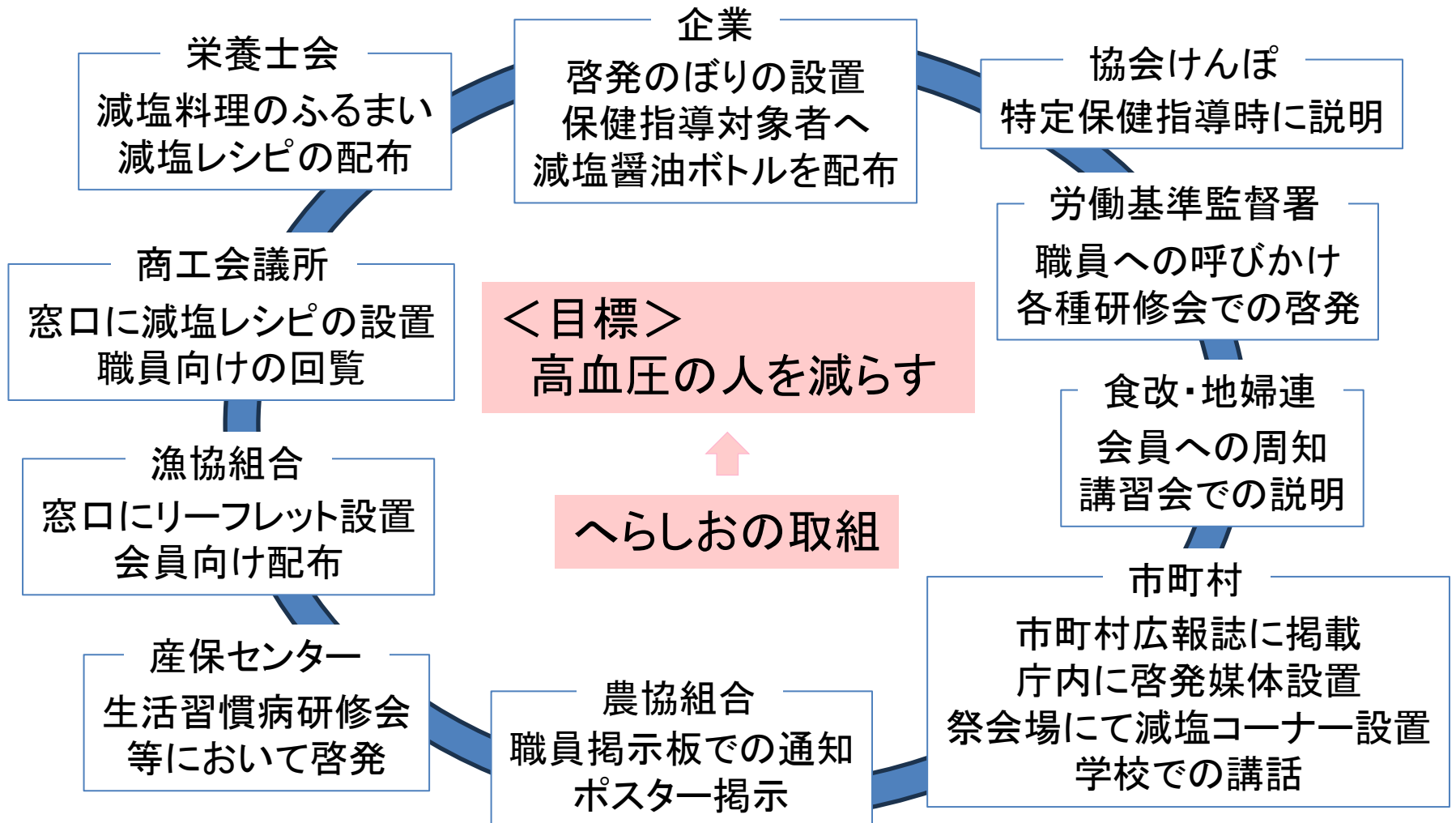


アウトカム評価	高血圧の人を減らす	2項目	県民健康・栄養調査結果 特定健診・保健指導実施結果 等 により評価 毎年、市町村・協会けんぽ・企業等の 結果をモニタリング
短期的アウトカム評価	食生活の改善	4項目	
	生活習慣の改善	5項目	
アウトプット評価	食生活の改善	3項目	
	生活習慣の改善	2項目	

地域・職域連携構成団体の取組

- 目標に対して各構成団体が自らの取組を計画・実施
- 協議会において情報共有

※R5年度取組予定から一部抜粋



地域・職域連携イベントの実施

- ・令和元年度から開始
(R2・3はコロナ禍により中止)
- ・協議会、部会委員が参加
- ・協議会構成団体からの健診等のお知らせも合わせて配布



地元新聞にも取り上げられました

❀ 生鮮売り場 ❀
野菜料理相談(18名)



タ刊デイリー
(令和元年8月31日1面)

❀ 店舗出入口 ❀

啓発媒体の配布(200名)

- ・へらしおリーフレット・食事バランスガイド
- ・レシピ・健康長寿ポケットティッシュ
- ・野菜と果実ジュース・へべす(JA提供)

情報発信(県庁ホームページ)

2.日向入郷地域・職域連携推進協議会における健康づくりの取組

日向保健所では、県民の健康づくりの基本指針となる「健康みやざき行動計画21（第2次）」に基づき、県民の皆様の健康づくりや生活習慣病予防のために、関係機関・団体と連携した取組を行なっています。

健康経営を意識し、働き世代の健康づくりを意識した「食事からの健康づくり」をテーマに「ベジ活」・「へらしお」を推進しています。

本会の部会で作成したレシピやちらしを健康づくりにお役立てください。

平成26年度～平成28年度「肥満対策」

- PDF [肥満対策リーフレットPDF \(PDF : 2,458KB\)](#)

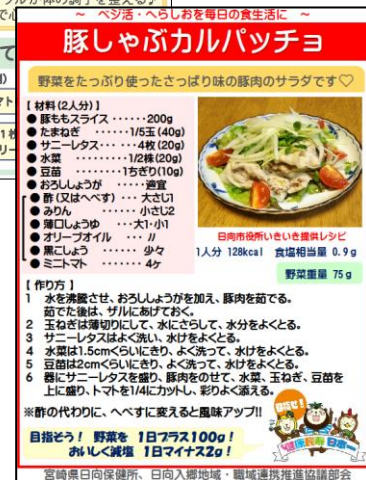
平成29年度～平成30年度「健康経営・食事からの健康づくり」

- PDF [職場の健康経営に関する意識調査及び職場の健康づくり状況調査報告書](#)

令和元年度～「食事からの健康づくり」

★ベジ活・へらしおレシピの紹介★

- PDF [ベジ活・へらしおレシピ春版PDF \(PDF : 1,048KB\)](#)
- PDF [ベジ活・へらしおレシピ秋冬版PDF \(PDF : 1,108KB\)](#)
- PDF [ベジ活・へらしおレシピ夏版PDF \(PDF : 1,101KB\)](#)
- PDF [ベジ活・へらしおレシピR2秋冬版 \(PDF : 1,178KB\)](#)
- PDF [ベジ活・へらしおレシピR2春版 \(PDF : 1,061KB\)](#)



その他の取組

①作業部会の開催(年1~2回)

- 協議会構成団体から実務担当者が出席
- 具体的な取組内容の検討(リーフレット作成等)
- 各構成団体における取組の進捗状況確認

②その他

- 協議会構成団体とメーリングリストの作成・活用
- へらしお協力店の募集・普及
- 啓発資材配布(各構成団体の窓口等で配布)
- 情報発信(FMラジオ等)
- 商工会議所と連携した健康経営研修会の開催
- 保健所その他予算事業との連携した取組

管内市町村と連携した取組

保健所と市町村の食環境整備事業として実施

→ 当協議会の取組テーマに合わせて「へらしお」に設定

へらしお啓発コーナーの設置 (R4年度)

- (1) 公共施設での啓発物掲示 (啓発物の一部を保健所から提供)
- (2) 市町村広報誌等での取組紹介・情報提供
- (3) 日向保健所ホームページ及び県SNSでの取組紹介



Instagram

／全6投稿の合計
リーチ数 **3,064**
いいね数 **202**

日向保健所内の取組(R2～)



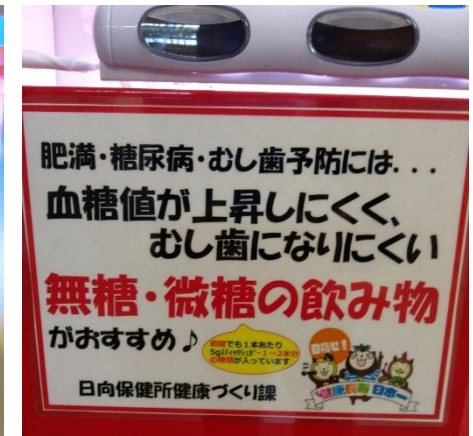
事業所健診来所者の待合スペースに、へらしお情報、料理のエネルギー・食塩相当量を展示し、へらしお・ベジ活リーフレットを設置。

(自然と目に入る場所の環境整備)

自動販売機の飲料の配置変更、無糖・微糖を推奨する旨の掲示を実施。

業者に交渉し、売り上げ・配置条件のすり合わせを行うことで許可を得た。

(モデル事例として波及につなげる)



当協議会において情報提供
各構成団体でも取組できるよう
資材等の提供

県協議会への参画

二次医療圏地域職域連携推進協議会の取組内容を共有

二次医療圏名	テーマ	取組内容
宮崎東諸県圏域	口の健康から考える生活習慣病対策	宮崎県総合保健センター内の自動販売機に無糖、微糖の表示
日南串間圏域	働く世代の健康づくり ～ワークヘルスバランス～ 健康経営の推進	<ul style="list-style-type: none">・『九州・山口チャレンジウォーク』の周知と実施依頼・ベジ活応援店に該当しそうな店舗の推薦依頼・塩分チェックシートを部会委員の職場に配布依頼。各自へらしおに関する目標を立て、取組の前後でチェックシート の記入を実施・健康経営の普及(セミナー等の案内)
都城北諸県圏域	減塩の推進	配食業者・弁当業者向けの減塩リーフレットの作成
西諸圏域	働く世代を対象にした適正体重の維持	健康無関心層に対する働きかけ、健康経営に取り組む事業所を増やすための取組についてグループワークにて意見収集 →「西諸ウォーキングキャンペーン」実施予定
西都児湯圏域	<ul style="list-style-type: none">・働く世代の健康づくり・「健康経営」の推進	<ul style="list-style-type: none">・働く世代の食生活アンケート調査の実施・職場の健康づくり(健康経営)セミナーの開催・メーリングリストを活用し、協議会委員へ健康づくりに関する情報提供
日向入郷圏域	<ul style="list-style-type: none">・食事からの健康づくり推進(ベジ活、へらしお)・肥満・高血圧対策	<ul style="list-style-type: none">・健康増進普及月間における健康づくり普及啓発活動・「へらしお協力店」の登録・メーリングリストを活用し、協議会委員へ健康づくりに関する情報提供
宮崎県北部圏域	「適正体重の維持」へ向けた「身体活動の向上」	各団体からの「健康宣言」の活動報告を受け、「身体活動の向上」を目的とした取組の最終評価を実施。次年度からの取組内容の決定。

地域・職域連携の推進における課題

①メーリングリストの多方向からの活用

【課題】事務局からの情報発信にとどまっている
→ 構成団体からも発信できるよう呼びかけ

②構成団体の取組の継続

【課題】事務局員や構成委員が変更となる中、協議会の
意義や目的の引継ぎ、役割維持をどう図るか
→ 委員改選後、最初の協議会では、これまでの取組
や意義を必ず再共有

③構成団体以外の職域への働きかけ

【課題】構成団体を通じた働きかけにとどまっている
→ 作業部会で、構成団体と共に方策を検討したい

地域・職域連携の推進における今後の方向性

R6年度以降の取組予定

- 県民健康・栄養調査の結果から取組状況の評価
- 現状分析から見えた健康課題と県健康増進計画とを連動させた「新たな取組目標」の設定
- 市町村をはじめとした各構成団体から、当協議会に求めるニーズの掘り起こし
- 啓発イベントの継続開催



これまでに培ってきた構成団体との「つながり」を大事に、事業を継続・発展させていきたい